

3 講演内容

西洋書籍の歴史——印刷・出版と読書——

樺山 紘一

(東京大学名誉教授・印刷博物館館長)

西洋書籍の歴史について、アイルランドのチェスター・ビーティー図書館の沿革と古典籍の所蔵を具体例として、中世装飾挿画本から印刷本への変革を見る。また、ヨーロッパの印刷と出版における歴史的な変遷から本の歴史をとらえ、読書社会史という見方からモノとしての書物を考える。

1. チェスター・ビーティー図書館（アイルランド）から

- 1) その沿革, 1875～2001
- 2) ビーティー・パピリをめぐって
- 3) 中世装飾挿画本から印刷本へ
- 4) イスラム・中国関連コレクション
- 5) コレクション展示をもつ図書館

2. ヨーロッパ印刷・出版史への関心

- 1) 知性史：学術・思想史研究の方向性
- 2) 印刷と出版：産業から社会へ
- 3) 『本の歴史』の着想

3. 読書社会史という見方

- 1) モノとしての書物
- 2) さまざまな読まれ方の社会的文脈
- 3) 図書館からのメッセージ

使用資料：

『聖書』1686年ニュルンベルグ刊（図1）

『コーラン』ヒジュラ暦773年（1371/72）（図2）

『ヴェラム装アラビア語文書』ヒジュラ暦968年（1561）



図1 『聖書』1686年ニュルンベルグ刊
((公財) 東洋文庫所蔵)



図2 『コーラン』ヒジュラ暦773年（1371/72）
((公財) 東洋文庫所蔵)